



2011年4月28日

各位

会社名 株式会社メディパルホールディングス
 代表者名 代表取締役社長 熊倉貞武
 (コード番号 7459 東証1部)
 問合せ先 コーポレート・コミュニケーション部長 山崎邦衛
 (TEL. (03) 3517-5171)

連結業績予想（通期）の修正および特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2011年1月31日に公表いたしました2011年3月期の連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2011年3月期 通期連結業績予想数値の修正 (2010年4月1日～2011年3月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	2,656,000	14,600	23,500	2,700	11.51
今回修正予想 (B)	2,662,800	13,500	22,800	1,700	7.25
増減額 (B - A)	6,800	△1,100	△700	△1,000	—
増減率 (%)	0.3%	△7.5%	△3.0%	△37.0%	—
前期実績 (2010年3月期)	2,546,029	18,433	26,802	1,958	8.31

2. 修正の理由

2011年3月期の連結業績予想について、以下のとおり変動が生じることとなったため、見通しを修正するものであります。

なお、当社連結子会社である株式会社Paltaの業績予想の修正（単体）につきましては、本日付の「連結子会社（株式会社Palta）特別損失の計上および業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表しております。

(事業活動にかかる修正の要因)

医療用医薬品等卸売事業につきましては、2010年4月1日、薬価基準が平均6.5%引き下げられた影響があったものの、新製品や需要が拡大する生活習慣病薬の販売を積極的に展開したことにより、販売は順調に推移いたしました。

しかしながら、新たに導入された薬価制度のもと、合理的な販売価格の維持と適正利益の確保に努めたものの、仕入価格交渉ならびに販売価格交渉は総じて厳しさを増すとともに卸間競争が激化し、利益水準が想定以上に低下いたしました。

これらにより、営業利益および経常利益は、前回発表予想を下回る見込みであります。

化粧品・日用品、一般用医薬品卸売事業につきましては、ほぼ前回予想どおりの売上高、営業利益および経常利益を計上できる見込みであります。

(震災および火災にかかる修正の要因)

2011年3月11日に発生しました東日本大震災および火災により、当社連結子会社において、物流設備の損壊および棚卸資産の滅失等の被害が発生いたしました。貸倒引当金繰入や建物補修費用を含めた、これらの被害に対する損失見込み額約50億円を特別損失に計上することといたしました。

<震災および火災の影響>

(1) 人的被害について

大変残念ながら、当社連結子会社の従業員1名が亡くなっております。

(2) 特別損失の内訳

① 被災地支援について

被災者および被災地への支援費用等として約1億円を見込んでおります。

② 建物・設備に対する被害について

震災および火災による被害が、当社連結子会社の建物・設備等に及んでおり、復旧等の費用として約26億円を見込んでおります。

なお、上記の被害が発生しましたが、当社連結子会社の既存設備による代替運用等により、商品の供給体制を確保しております。

③ 棚卸資産に対する被害について

汚破損による商品減耗等の損害額は約16億円を見込んでおります。

④ 貸倒引当金について

取引先罹災による貸倒引当金繰入により約2億円を見込んでおります。

⑤ その他費用として約3億円を見込んでおります。

(注) 上記の連結業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上